

08. TMKミライデザインプロジェクト

(玉城町明るい未来推進プロジェクト)

実施主体：玉城町総務政策課

地域創生のお手伝い

TMKミライデザインプロジェクトとは？

本プロジェクトは、玉城町の住民の方々や行政など支援サービスの方々と一緒に自分たちが住んでいる地域の魅力や課題について考えることやそのきっかけを作る取り組みを行なっています。今年度は防災について考えること、子どもたちにまち歩きを通じて地域の危険箇所を新たに発見することや確認するという活動を主に行いました。また、まち歩きでは鳥羽商船高等専門学校の学生と協力して活動を行っています！

(9月) 新米を食べよう！

災害が起きた際に電気やガスがなくてもご飯を食べられるということを経験しました。集まった皆さんが新米を持ち寄ってくださり、ビニール袋と沸騰させたお湯を使って新米を炊くことや実際に新聞や着火剤を使って火おこしをして、その起こした火を使って炊き出しをしました。



(9月) 下外城田地区地域まちづくり会議

地元の住民の方がどのようにしたら住み良いまちになるかを集まって話し合う会議に参加させていただき、まちづくりについて考えることができました。

(12月) 下田辺地区子どもまち歩き

下田辺地区の子どもたちを対象に、鳥羽商船高等専門学校の学生が作成した「ロゲミン」というアプリを使いました。地図の中にピンを刺すことができ、その地点がどのような危険があるのかを種類分けすることができるアプリです。活動では子どもたちが2つのグループに別れて、地図の中に危険箇所を8箇所ピン付けし、その後互いのグループが地図を交換してその中から5箇所を選んで周り、どのような危険がありどのようにしたら危険を避けられるかという問いを大人が子どもに投げかけて一緒に考えました。これらの活動を通じて地域の安全確認と暮らしやすいまちづくりについて子どもたちと大人たちが考え、改善していくきっかけとなりました。12月のイベント実施に向けては、玉城町役場の方や鳥羽商船高等専門学校の学生などと打ち合わせを重ね、準備を進めていきました。当日は、子どもたちが地図作成やまち歩き、缶バッチ作りといった活動全体を通じて楽しんでいる様子が印象に残りました。また、子どもたちが想像力を働かせながら「なぜここが危険なのか」と考える姿も印象的で、このイベントの実施意義を強く感じました。



参加メンバー

佐藤幹太（国史学科 2年）、榎田晋之介（国史学科 2年）、山田泰資（現代日本社会学科 4年）